

作物をきれいに守る!



灰色かび病、うどんこ病に

よく振ってから
お使いください。



きゅうり 灰色かび病



トマト 灰色かび病



いちご 灰色かび病



ぶどう 灰色かび病



すいか うどんこ病



きゅうり うどんこ病



かんきつ 灰色かび病



いちご うどんこ病



ぶどう うどんこ病



ピーマン うどんこ病



日本曹達株式会社





フルピカで作物ピカピカ！ 野菜・果樹類の 重要病害防除に！

殺菌剤分類 9

- 性状：類白色水和性粘着稠懸濁液体
- 有効成分：メバニピリム…………… 40.0%
[N-(4-メチル-6-プロパ-1-ニルピリミジン-2-イル)アニリン]
水、界面活性剤等…………… 60.0%
- 人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

特長

1. 独自の作用性を有する殺菌剤です。
2. 灰色かび病・うどんこ病に予防散布で安定した防除効果を発揮します。
3. 各種薬剤耐性灰色かび病・うどんこ病にも優れた効果があります。
4. 浸透性を有します。
5. 果実や葉の汚れが少なく使いやすいフロアブル剤です。
6. 残効性や耐雨性を有します。
7. 有用昆虫に対し、影響が少ない薬剤です。

2,000倍希釈で
群衆、訪花活動
への影響なしセイヨウミツバチ、マルハナバチ、コレマンアブラバチ、オンシツツヤコバチ、マメコバチ、
チリカブリダニ、ミヤコカブリダニ、スワルスキーカブリダニ、リモニカスカブリダニ、
タイリクヒメハナカメシ、タバコカスミカメ

適用病害と使用方法

*本剤及びメバニピリムを含む農薬の総使用回数

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	使用回数*	使用方法	
かんきつ	灰色かび病	2,000～3,000	200～700	開花期～幼果期 但し、収穫90日前まで	2回以内	散布	
りんご	黒星病	2,000～6,000		収穫21日前まで	5回以内		
	斑点落葉病	2,000～4,000					
		うどんこ病 モニリア病		2,000			
なし	黒星病	収穫前日まで					
もも	灰星病	2,000～3,000	収穫30日前まで	2回以内			
ぶどう	灰色かび病		収穫14日前まで	5回以内			
かき	うどんこ病		収穫7日前まで	3回以内			
びわ	灰色かび病	2,000	収穫14日前まで	5回以内			
いんげんまめ			収穫7日前まで				
あずき	小菌核腐敗病	2,000	100～300	収穫7日前まで	4回以内	散布	
ねぎ							
きゅうり	うどんこ病 褐斑病 灰色かび病	2,000～3,000	10	収穫前日まで			
		67					
すいか メロン かぼちゃ	うどんこ病	2,000～3,000	100～300				収穫7日前まで
トマト、ミニトマト	灰色かび病						
なす	うどんこ病	67	100～300		収穫7日前まで	2回以内	
ピーマン		2,000					
パセリ		3,000	5	3回以内			
いちご		50					
マンゴー	2,000～3,000	200～700	収穫14日前まで 収穫前日まで				
ラズベリー	2,000						
花き類・観葉植物 〔ばら、スターチス、 宿根かすみそう、ゆり、 りんどうを除く〕	灰色かび病	2,000～3,000	100～300		発病初期	5回以内	散布
ばら	うどんこ病 黒星病						
スターチス	灰色かび病						
宿根かすみそう	うどんこ病						
ゆり	葉枯病	2,000	200～700				
りんどう	灰色かび病	2,000					
	褐斑病 黒斑病						
樹木類 (かしを除く)	うどんこ病 灰色かび病	2,000	200～700				
かし	紫かび病						

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2023年4月現在の知見に基づいて作成しています。

フルピカの上手な使い方

●予防的散布(早めの散布)を
重点に行ってください。発生前や発生初期から予防的に散布
(早めの散布)することで、優れた防除
効果を発揮します。

●的確な散布を行ってください。

灰色かび病は多くの場合、花卉から感
染します。感染しやすい部分に薬液が
十分かかるように散布してください。

●連続使用はさけてください。

耐性菌対策のため、本剤の連続使用は
さけ、作用性の異なる薬剤とのロー
テーションで使用してください。●耕種的な防除を併用してくだ
さい。灰色かび病を防除するには、薬剤防除
のみに頼ることなく、病害が発生しにく
い環境を作ることが重要です。フルピカ
の防除効果は、耕種的な防除対策と併
用することにより、安定した効果が得ら
れます。

【注意事項】(抜粋)

- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器を良く振ってください。
- おうとうには薬害を生じるおそれがあるので、かからないよう注意して散布してください。
- りんごに使用する場合、開花直前から落花20日頃までの高濃度(2,000倍)散布は、つがる、ジョナゴールド等の葉に薬害を生じる場合があるので注意してください。
- シクラメンに使用する場合、開花中の花卉に薬液が付着すると薬害が生じる場合があるので、開花期以降の散布はさけてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 皮ふに対して刺激性があるので、皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 保管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。
- ★空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号

お問合せ (03) 3245-6178

(平日9～12時、13～17時、土日祝祭日を除く)

No.996-2304Z

最新の登録内容、
SDSはこちら